

# 白門四八会

中央大学学員会白門48会 会報10号  
(題字：故 中央大学総長 高木友之助先生)

10

発行日：平成17年7月31日  
発行人：堀井 勉  
発行所：中央大学学員会白門48会  
東京都千代田区神田駿河台3-11-5  
中央大学駿河台記念館学員会事務局  
TEL：03-3219-6175  
URL：  
http://www.10plala.or.jp/hakumon48kai  
印刷所：(有) オルディ

2005年6月12日(日)、新宿駅西口の高層ビル街で一番最初に建設された京王プラザホテルの最上階47階の会議室において、第7回総会・懇親会を開催した。総会参加者40名、懇親会参加者は43名で、懇親会では、新規加入者の紹介・挨拶、遠方からの参加者の挨拶、各同好会活動の紹介、抽選会と盛りだくさんの企画の中、あつという間に2時間が経過した。

多くの参加者(35名)は引き続き開催した2次会に参加し、さらに2時間、大きなテーブル2つに分散し、駿河台時代のこと、近況、仲間の情報交換など談話活発に行った。このあとも、別れがたい気持ちが非常に強い仲間たち16名は、3次会へと雪崩れ込んだようであるが、その状況は幸いにも聞き漏らしているので、詳細は残念ながら記載できない。ご容赦を乞う。

## 第7回白門48会総会を開催



<懇親会の後新旧会長を中心に記念撮影>

## 新会長に、堀井勉氏を選任

### 第7回総会

総会は午後3時に始まり、司会に江川幹事(経済学部)を選任し、森会長(経済学部)の挨拶、議長、議事録署名名人の選任が行われ、議長には小野塚幹事(理工学部)が、議事録署名名人には、菊田幹事(法学部)、佐藤豊幹事(経済学部)が選任された。

#### 1 議題

(1) 2004年度事業報告ならびに決算について  
(2) 2004年度事業報告は、石坂幹事長から、「白門48会支部活動報告」により説明がなされた。

(2) 2004年度決算報告は、国領会計部会長から、平成16年度「白門48会」決算報告書により説明がなされた。

(3) 監査報告は、弘中会計監査から、適正に処理されている旨の説明がなされた。特に意見がなく承認された。

(2) 2005年度事業計画(案)について

石坂幹事長から、①会員との交流強化と新規会員の勧誘、②母校125周年記念事業への協力などを重点事項として

以下の事業を実施すると、説明がなされた。

① 2004年度に立ち上げた関西支部会との定期交流化と、新たに東北支部会を立ち上げる。

② 10月23日(日)多摩キャンパスで全卒業生を対象に行われる第16回ホームカミングデーに、会として積極的に参加し、新たな仲間を増やす。

③ 125周年記念事業への協力のための1口5千円の募金の依頼を会員に行う。

(3) 2005年度予算(案)について

国領会計部会長から、平成17年度「白門48会」予算(案)により説明がなされた。

① 収入の部では、会費収入は平成16年度の実績を踏まえて計上した。また、125周年活動経費は、白門48会扱いの寄付金の昨年度増加分5%を計上した。

② 支出の部では、例年と大きな変更はないが、予備費は、新規会員の募集のための通信費など柔軟性を持たせて執行を考えていく。

(2)、(3)とも承認された。

(4) 母校の125周年記念事業への協力について

森会長から、以下の通り提案説明がなされ、承認された。

(次ページへ)



懇親会では新しい役員が紹介された

① 白門48会の目標額は1千万円であるが、現在600万円にとどまっている。

② 目標額達成に向けて、1人1口5千円で、白門48会が取りまとめ、創立125周年記念プロジェクト推進事務局に寄付する方式で募金を募る。

③ 当会の125周年記念プロジェクト推進委員会は大学の方針にあわせ募金委員会に改組し、メンバーはそのまま移行し、募金の推進に当たる。

④ 役員の見直しについて  
小野塚議長から、会長他任期が切れた役員の見直しについて、立候補者の確認がなされ、事務局案が全会一致で承認された。

(役員一覧は別掲)

## 新会長挨拶

新しい時代を迎えるために



堀井 勉  
(理工学部卒)

6月12日に開催されました白門48会第7回総会にて会長に選任されました堀井です。微力ではございますが、皆様のご協力をいただきながら、会のさらなる発展のために尽くす所存ですのでなにとぞよろしく願い申し上げます。

さて白門48会も設立後6年が経過し7年目に入りました。私で第3代目会長となります。われわれも50代半ばとなり、

人生もそろそろ転換期にさしかかろうとしており、男性は会社や仕事一辺倒の人生から、そして女性は子育てが終了して、そろそろお孫さんまでできる頃となり、今再び学生のときか

## 懇親会

16時から、会場を47階『あけぼの』に移し、成田幹事(法学部)、佐藤愛子事業部長(文学部)の軽妙洒落な司会のもと、懇親会を行った。

らの仲間、さらに中央大学に対する郷愁が芽生えて来る年代になってまいりました。

今までとは違った新しい時代を迎えつつあり、当会の活動を通じて、より多くの友人の輪ができることにより、会員各位のさらなる発展に寄与できるものと考えております。そして、当会を今以上に活性化することが、母校・中央大学のますますの発展にもつながっていくものと考えております。

なお、会の発展のため、5つのプロジェクトの立ち上げを予定しております。たとえば、地方支部設立準備、同好会活動活性化、他支部渉外、収益事業開発、などを予定しております。

今後とも会員各位、ならびに関係者の皆様には、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

懇親会では、堀井新会長の紹介により新役員の挨拶が行われた。

また、一般会員の自己紹介もなされ、新規会員として、赤羽(商学部)、川瀬(理工学部)、矢部(経済学部)の

### <中央大学学生会白門48会役員一覧>

・会長	堀井 勉 (理工学部)	新
・副会長	小田島和幸 (法学部)	新
	〈渉外担当会長代行、東北支部立ち上げ担当〉	
	新倉 利明 (経済学部)	新
	〈財政強化、関西支部活性化担当〉	
	川嶋 直人 (商学部)	2006年3月31日まで
	〈125周年記念募金担当〉	
	福岡 悟 (理工学部)	2006年3月31日まで
	〈堀井氏残任期間〉〈会員増強担当〉	
	小林 裕 (文学部)	2006年3月31日まで
	〈同好会活動、関西支部活性化担当〉	
・幹事長	石坂 隆 (法学部)	2006年3月31日まで
・副幹事長	佐藤 愛子 (文学部)	事業部会担当 新
	湯川 修 (商学部)	会計部会担当 新
	島崎 修 (理工学部)	広報部会担当 新
・地方支部	黒羽 一記 (文学部)	関西支部部会長 新
・会計監査	小林 秀男 (文学部)	2006年3月31日まで
	弘中 (下島) 真知子 (文学部)	2006年3月31日まで

※任期：2005年6月12日～2007年3月31日

三氏から挨拶が行われた。

同好会の紹介では、しばらく休部となっているゴルフ同好会から活動を再開すると福岡幹事(理工学部)から紹介がある会場内から拍手があり、また、三森幹事(理工学部)からは川名幹事(文学部)、

吉澤幹事(文学部)の女性会員2名を従えての温泉同好会立ち上げのアピールもあった。懇親会の最大イベントである抽選会は、会員がそれぞれ

一品ずつ持ち寄った品物を賞品に、平塚幹事(商学部)が抽選番号を抽選箱から引き、当たった品物をその場で確認される会員もあり、大いに盛り上がった。

最後に、国領幹事(経済学部)のリードのもと輪を組んで校歌・応援歌を合唱し、福岡副会長(理工学部)から閉会の挨拶と三本締めがあり、秋のホームカミングデーでの再会を約し、散会した。

## 第6回総会

2004年6月12日(土)、中央大学多摩キャンパス1号館4階会議室(1410号室)で、特別講演会、第6回総会を開催した(参加者29名)。なお、15時の特別講演会の開催前に、創立125周年記念事業の一環として建設された学生関連施設であるCスクエアとグリーンテラス等の施設見学と、本学創立記念ビデオ「甦る中央大学」新版の上映会も行った。

### (1)特別講演会

本学文学部教授長崎健先生に「東海道五十三次箱根駅伝の旅」を演題に、約90分、日本橋から箱根までの各宿駅と江戸時代の旅について、ご講演いただいた。

本会の箱根駅伝応援同好会は、大平台の絶対応援ポイントを開拓したパイオニアで、例年20名を超える会員が往路と復路を同じ

場所で応援する熱烈ぶりであり、同会のメンバーをはじめ、全員が、先生のご講演に熱心に耳目を傾けていた。

長崎先生には、事前に周到な資料の作成もしていただき、時々ユーモアを交えての講演に会場内には笑いが漏れる等、90分は瞬く間に経過した。特に、箱根駅伝の過去の記事のトピックを抜き書きされた資料を元にされた箱根駅伝の話には、参加した会員は納得しきりの様子で引き込まれていた。

### (2)第6回総会(議題)

①2003年度事業報告ならびに決算について

2003年度事業報告は、石坂幹事長から、2003年度決算報告は、国領会計部会長から、説明がなされた。監査報告は、弘中会計監査から、適正に処理されている旨の説明がなされた。

②2004年度事業計画(案)について

石坂幹事長から、既会員の全国規模での交流を深めるためと新規会員の拡大のため、以下の事業を重点事項として実施すると、総会資料により説明がなされた。

・名古屋以西の会員を対象に関西支部会を、近畿中大デーにあわせて開催する。  
・10月24日(日)多摩キャンパスで

行われる第15回ホームカミングデーに、会として積極的に参加し、新たな仲間を増やすことにしたい。

③2004年度予算(案)について  
国領会計部会長から、説明がなされた。

・収入の部では、新たに125周年活動経費を計上した。これは、125周年記念事業寄付金の白門48会扱い分について実行額の5%が白門48会への活動経費として返還されるので、今年度は、16万円を計上した。

・第15回ホームカミングデーに会として積極的に参加することとして、白門48会未加入者で学員時報購読者2千人に対して、ホームカミングデーへの参加、白門48会加入の案内等を往復ハガキで行うこととし、通信費が増額になった。原資としては、125周年活動経費を充てる。

・第4号議案で提案している「125周年記念事業寄付金」を白門48会を通して行うこととし、収入として25万円計上し、同額を支出に計上した。

④母校の125周年記念事業への協力について  
森会長から、以下のとおり提案説明がなされ、意見、質問などの後、承認された。

・白門48会の日額は、1千万円であるが、現在470万円にとど

まっている。

・目標額達成に向けて、実質的に寄付がしやすい方法により、今年度から仕切り直しで、寄付のお願いをしたい。  
・具体的な実施方法は次の通りである。

i 毎年1人1口5千円で、白門48会が取りまとめ、創立125周年記念プロジェクト推進事務局に寄付する。

ii 振込先は、白門48会郵便振替貯金口座とし、所定の振込用紙を第6回総会報告時に同封いたしますので、ご利用ください。なお、お一人様1口にての振り込みをお願い申し上げます。

iii ご振り込みは、平成16年12月末までお願いします。

(主な意見・質問)  
・白門48会あつての125周年記念事業のための寄付と思うが、白門48会の年会費が3千円、寄付金が5千円というのは会員にとつては厳しいのではないかと、

・年次支部だけでなく、地域支部、職域支部に入っている方もいるがどう考えるのか。

→ 会員の皆様のご協力ご支援をいただき、白門48会として目標額の達成を目指したい。

・今年度寄付金収入の予算が25万円となっているが、目標額である1千万円は達成できるのか。  
→ 2010年が創立125周年に

なる。後7年間の間に達成するには、毎年25万円では厳しい。会員の拡大などにより裾野を広げ、寄付金を募ってきたい。毎年50万円の寄付があれば、目標達成の実現性が高くなる。

・寄付金を募るときに、所得税の控除があることも触れるといいのではないかと。

→ 寄付金控除についてはぜひ触れるようにする。ご指摘ありがとうございます。

### (3)懇親会

17時30分から、生協食堂棟に場所を移し、懇親会を行った。

懇親会には、特別講演をなされた長崎健先生、10年支部として白門38会から後藤副会長のご臨席をいただき、来賓・新規会員・遠隔地参加者の挨拶、懇親に入り、懇親会最目玉の抽選会も行われた。

新倉事業部会長の周到な準備と、島崎・佐藤幹事の流れるような司会進行、堀井・吉澤幹事の抽選会進行に、大いに盛り上がりを見せた。全員の記念撮影の後、校歌・応援歌を国領副幹事長のリードのもと輪を組んで合唱し、秋のホームカミングデーの再会を約し、散会した。この後も、ほとんどの参加者が帰りがたく、高幡不動駅の2次会場で、若き血潮をたぎらせ、22時過ぎまで怪気炎をあげた。

# 中央大学創立125周年 記念事業について

森 雅明 (経済学部卒)

平成13年10月より「中央大学創立125周年記念プロジェクト」がスタートし、その事業活動のための募金活動が展開されております。平成14年の白門48会総会において、この募金活動に参加し、募金目標額を1000万円とすることは、会員各位のご承認を得られたものです。

この募金活動の成果は、平成17年5月1日現在で、申込人数41名金額で608万円、入金41名508万円が目標に對しまだ未達の状態になっています。母校中央大学の興隆が、そのその学員会であり、学員会支部活動であります。このためにも大学の環境整備が重要であり、学員一人ひとりの協力が不可欠なものです。この中央大学創立125周年記念プロジェクトを成功させてこそ、中央大学の学員であること、学内においては支部としての「白門48会」の存在を印象づけることができるのではないのでしょうか。昨年度はより多くの会員が本事業に参加者し、募金額積み

上げのため、1人1口5千円の募金をお願いし、白門48会が取り纏めて中央大学創立125周年記念プロジェクトに寄付する方式で募金を募りました。この成果として、22名25万円の寄付を集めることができました。

昨年度以上の成果を期待して、

## 第15回ホームカミングデーに正式参加 抽選会で三たび賞品当選

2004年10月24日、第15回中央大学ホームカミングデーが開催され、白門48会が支部として正式に参加しました。参加者は20名。桜広場での懇親会は、ピクニック気分で開放感が横溢、親睦が一層深まりました。恒例の抽選会では、くじ運が強い48会の本領を發揮し、今回もまた一等賞を引き当てました。これで3度目の重賞獲得です。

本年度も引続き同様の形での寄付をお願いします。また個人で募金をされる方は、今年度から税法(寄付金控除)が改正され、募金をしやすくなりましたので、積極的に参加をお願いしたいと思います。

母校中央大学の興隆のためにも、各位の「中央大学創立125周年記念プロジェクト」への積極的な参加を重ねてお願いいたします。

最後に一等の番号が発表されたとき、まさか自分が当選したなんて思いもよらなかった。気づかなかったのですが、当選したことを教えられ、もうビックリしてしまいました。宝くじも買わないので、一等当選など生まれて初めてのことでした。

早朝からバタバタと慌ただしく仕度して、2時間近くかかって中大多摩キャンパスまで来たのです。早めに出て来て良かったと思えました。私は、テレビを前の家に置いてきてしまったので、ちょうどほしかったのです。事情があつて昨年家族がバラバラになりま

### おまかせの一等当選

清水 洋子  
(文学部卒)



ピクニックのような懇親会

2005年の第16回ホームカミングデーは、10月23日(日)です。今年も何か大きな賞品が当たるような気がします。皆さん、ぜひご参加ください。

### リレーエッセイ



国領 義男  
(経済学部卒)

ゆったりとした  
時の流れの中で

私事ですみません、日頃の国領と違った顔の国領の話をはなつと。

私は、数年前から『王子田楽』という地元の王子に伝わる伝統芸能(東京都北区無形文化財)を手伝っています。『田楽』といってもピンと来ない方がほとんどだと思えますが、笛を中心とした楽の音色に合わせて鼓やササラを持った舞童が優雅に舞う、中世日本の風流を再現した芸能です。『王子田楽』の歴史は六百年以上前に遡り、全国の田楽のなかでも古式を忠実に継承した最も美しい田楽といわれています。現在の王子田楽は、太平洋戦争のときに途絶えてしまったものを有志の方が四十年ぶりに復興させ、毎年8月の第二日曜日の夕方、王子神社境内で演じられています。この『王子田楽』の裏方としての仕事も私の楽しみのひとつで、48会同様ストレス発散、気分転換になっています。どうですか皆さん、日頃の、ワイワイ酒を飲んだり、大声を出してエールを叫んでいる国領とはまた違う、ゆったりとした時の流れの中にある国領が想像できますか？

# 同好会活動報告

## 学生スポーツ応援同好会 51季ぶりのリーグ制覇

金子 健治 (法学部卒)

平成16年11月5日(金)午後3時35分、晩秋の夕闇迫る神宮球場に、その瞬間がやって来た。駒大の攻撃も2死、最後のバッターの打球が1塁へ力なく転がる、アウト！一斉にベンチから飛び出す選手達、総立ちの応援席、声にならない声飛び交い、テープが舞う。昭和54年春以来51季ぶり24度目のリーグ制覇の瞬間である。会田投手がマウンドで高々と何回もジャンプ、清水監督が宙に舞う。約2千人の中大応援席は、どの顔も泣き笑い、そして大感激、大感動の勝利の校歌斉唱が始まった。前夜、薄氷の勝利で1勝1敗のタイに持ち込み、今日勝った方が優勝という試合であったが、4回表中大が1点先取。しかし7回裏駒大に1死2・3塁と攻められる大ピンチを招き、ここで前夜に続き会田君(3年・佐野日大)が登板、冷静な投球で切り抜けると、



会田主将を胸上げ

9回表2死から新田君(4年・高松商業)が敵失で出塁、そして打席は亀井主将(4年・上宮太子)。大学生活最後の打席は打った瞬間それと分かる右翼中段席まで運ぶため押ししの2点本塁打、打球の行方も見ず右手人差し指を立てゆつくりとベース一周しながら、中大応援席に向かい繰り返すガッツポーズ。

平成元年春から平成11年春まで長い二部生活に入り、花田投手(現ヤクルト)、阿部捕手(現巨人)等の活躍で平成11年秋から一部へ復帰したものの、なかなか勝てず苦しい日々が続く。しかし、しかし、その苦勞も報われる時がいつにきたのだ。本当に良かった。二部時代、中大を支えてくれた多くの選手達の顔が思い浮かぶ。

戦国東都、これからも何が起きるか分からない緊迫のリーグ戦が続く中、また新たな中大の歴史を作り上げて行つて欲しい。頑張れ、中央！

昨秋の感動のシーンがまだ目に鮮やかな中、春のリーグ戦が始まった。マスコミ各紙では優勝候補一番手にあげられ、オープン戦も好調で連覇への期待は高まるばかり。亜大が出場せず、5校という変則リーグ戦も強力な投手陣を擁す中大には有利と思われた。

しかし、初戦、昨秋優勝を争った駒大との試合で勝点を落とすと、自慢の投手陣が壊滅状態となり、序盤で大量点を奪われ追い上げるとまた失点と悪循環。開幕から5連敗を喫す。我が同好会の応援ツアーが行われた5月3日も1対8と東洋大に完敗。変則日程に集中力を無くしたかのような無念の試合が続く。

最終週に完全優勝を目指す青学大から勝点を上げ、昨秋の優勝校の意地を見せたが時既に遅し。結局3勝7敗と5位(最下位)に終わる。救いは終盤になって投手陣が立ち直り試合を作ったこと、新入生や2年生を多用したがつちりと成果を出したこと。秋は二部より立正大が昇格し再び6校でのリーグ戦となるが、戦力的には中大は優勝を狙える一番手。夏に心身ともに鍛え、再び感動を我々に与えてくれるでしょう。秋日程はまだ未定ですが、予想では9月3日(土)の開幕週青学大戦からなると思います。

なお、昨秋優勝の大立役者亀井選手がドラフト4位で読売巨人軍に入団し、現在イースタンリーグで早くも4番を打つ等活躍をしております。強力な外野陣の一角に食い込むのは容易ではないですが、俊足巧打巧守の選手として1軍の舞台に登場するのもそう遠くないと思います。皆

で応援しましょう。

さて、「学生スポーツ応援同好会」では9月4日(日)に硬式野球応援ツアーを、その他昨年初の関東代表決定戦に出場したアメフト部、逆に2年連続入替戦出場となつてしまったラグビー部等の応援ツアーを予定しています。日程等詳細決定しましたら、48会HP等でご連絡します。是非大勢の方のご参加をお願い致します。

### 釣同好会参加のお誘い

石坂 隆 (法学部卒)

皆様には各所で釣り行をされていらっしゃると思います。釣同好会も、会とともに年を重ね、本年度6年目を迎えています。2005年度も、左記のとおり同好会活動を行う予定です。是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日予定

#### ■2004年度活動報告

- ①2004年3月27日(土) 金沢八景 米元釣船店 アジ釣り 4名参加(白門釣楽会:7名)
- ②2004年9月4日(土) 江ノ島 鳥さち丸 カツオ釣り 3名参加(白門釣楽会:9名)
- ③2004年12月25日(日) 金沢八景 米元釣船店 アジ釣り(前日葉山寮泊) 4名参加(白門釣楽会:5名)

\*2005年2月19日(土) 網代 倉造丸 カワハギ釣り強風のため中止  
「世話人連絡先」  
TEL:280551

- 2005年度活動予定
- ①2005年9月10日(土) 片瀬 江ノ島 鳥さち丸 イナダ釣り(出船7時30分)
- ②2005年12月25日(日) 金沢八景 米元釣船店 アジ釣り(出船7時30分)
- ③2006年2月18日(土) 網代 倉造丸 カワハギ釣り(出船8時)中央大学湯河原寮泊(当



本カツオの爆釣に大満足の釣師達

TEL:03(3817)1976  
FAX:03(3817)1978  
Email: takazaka@tamajs.chuo-u.ac.jp



## カラオケ同好会 メモリアルスタート

坂本 賢一（経済学部卒）

48会人会当初から考えていた「カラオケ同好会」の立ち上げが、商学部湯川さんの力強い賛同の下、昨年の総会の2次会の席で発議され、スタートした。

まず、第1回目のカラオケ大会は、16年10月10日出雲駅伝応援ツアの一環として、出雲市のカラオケスナックにて参加3名でメモリアルスタートをきり、前夜祭として大いに盛り上がり、駅伝の応援にも繋げた。

そして、同じ月の24日ホームカミングデイの3次会として、8名の歌好きの仲間、マイクを握った。歌い出したら止まらない、そんないい雰囲気ができつつある。

1月の箱根駅伝の宿泊先「ホテル岡田」でも、年の初めの歌い初めを開催、さらに4月16日の花見屋形船ツアーにも参加、充実した春の1日を盛り上がった。



歌い出したら止まらない

## 箱根駅伝応援同好会 駅伝三昧

新倉 利明（経済学部卒）

◆第16回全日本選抜駅伝  
（出雲駅伝）応援

台風の影響で寝台特急「サンライズ出雲」が連休、予定を変更して坂本副会長、成田幹事と新幹線、伯備線乗り継いで出雲入り。2年生の奥田選手のご両親と現地へ合流。

出雲大社を参拝して向かえた駅伝当日。島根学員会さんを中心とする母校大応援団に参加。1区のスタート、第3中継所、ゴールで母校選手を応援。結果は堂々の第3位、閉会式では選手に第3位のメダルが授与。

◆第36回全日本駅伝  
（伊勢駅伝）応援

スタートの熱田神宮に参拝、1区スタートを応援後、最終8区の皇学館大学前に向かう。

1区で出遅れたものの2区でスーパーキー上野選手がごぼう抜きとの情報に歓喜。

3区以降も安定した走り、最終8区、池永選手に熱烈声援。後日談池永選手によると遥か手前から「池永コール」が聞こえ、力づけられたとのこと。伊勢も見事3位でシード権獲得。

◆第81回箱根駅伝応援  
定位置の大平台ヘアピンカーブ



出雲駅伝応援風景

で母校を応援。まさかの上野選手がブレーキで厳しいスタートだったが、2区エース高橋君より徐々に順位を上げ、5区中村選手も区間2位の逞しい山登りで往路順位6位となる。復路は山くぐりで4年連続の「シムンスケ」コール。

例年より若干苦しそうな表情だったが、やはり区間賞。7区家高主将区間2位の貫禄、8区奥田選手は区間賞と復路も徐々に追い上げ、ゴール手前に先回りした私たちの前を最終ランナー田村選手、周囲を巻き込んだ「田村」コール。あと100メートル日本橋寄りだった3位の日大選手を捉えたかもしれないと思



伊勢駅伝応援風景

いが「タラ、レバ」Cファンの心情。わずかに秒差で総合第4位。

## 江戸文化を徘徊する会 品川徘徊会

細谷 教雄（理工学部卒）

徘徊会では、春と秋に東京都内を中心にして、数キロを歩き江戸文化の香りの残る普段見逃しているもの見学や面白いものを発見する会を開催しております。徘徊後は、学生時代に戻って皆でわいわいがやがやおしゃべりしながらの楽しい飲み会が待っています。

昨年は、7月に「品川宿徘徊会」を開催しました。京浜急行平和島駅から鈴が森刑場跡、ほんせんじ品川寺や品川神社などを見学しながら、旧東海道を品川駅近くまで散策しました。今年も多くの方の皆様の参加をお待ちしております。

なお、徘徊または飲み会のみのご参加や家族などの同伴者の参加も歓迎しますので、遠慮なくお出下さい。参加希望の方は、幹事まで連絡先をお知らせ下さい。

「行事担当者」

細谷 教雄（ほそや みちお）

micchio.hosoya@nifty.ne.jp

埼玉県志木市本町6-1-2-10

電話・FAX

048(472)4781

## 川嶋産業株式会社

代表取締役  
社長

川嶋 直人

本社 東京都中央区新富1丁目6番10号  
東京営業所 東京都中央区新富1丁目4番6号  
〒104-0041 電話 東京(3551)9521~5番  
FAX 東京(3553)2919番

ビジネスにプライベートに最適な国際電話サービス登場!

日短テレコム

高品質・超格安!

24時間いつでもアメリカへ1分

¥14

※一般加入電話  
からのみ可能

お問い合わせ  
ご相談は...

日短テレコム 堀井まで  
9:00-17:00(土日祝日、年末年始を除く)  
TEL:03-3246-1208 FAX:03-3246-1461  
E-mail:rep@nittan-telecom.com.jp

## ニュービジネス研究同好会 ワイン試飲を交えて

堀井 勉 (理工学部卒)

### 1 活動報告

2004年7月29日および2005年1月27日の2回にわたり理工学部1235号室において「ダイレクト・マーケティング」の研究を行った。

第3回はダイレクト・マーケティングの「成功事例他」についての研究を行った。

第4回はダイレクト・マーケティングの「広報宣伝活動他」についての研究を行った。

講師はドイツのワイン卸販売会社で日本においてワインのダイレクト・セルズの草分け的存在であるピーロート社のゲーリー・ロビンソンさんをお願いした。

研究とともにワインの試飲会も併せて行い、ワインの産地による特色なども試飲も交えてご説明いただき参加者一同懇親も深めた。



ピーロート社の社内報の記事

第3回の会合にはピーロート社本社のベウニス社長が当研究会を訪問され、有意義な会を持つことができました。そのときの模様

がピーロート社の社内報に掲載され、全世界のピーロート社員数万人に広く伝えられました。

なお、ピーロート・ジャパン社の相談役(前社長)は36年(法)卒の前島夫さんです。本企画に対し、最大限のご協力を頂いておりますのでご参考までに報告いたします。

### 2 今後の活動予定

2005年も7月と2006年1月にマーケティングの研究を行う予定です。

### 3 会員募集

ニュービジネス研究同好会の名前は堅いのですが、堅い話は抜きにして楽しく語らう会ですので多くの方のご参加をお待ちしております。

「連絡先」 堀井 勉  
メール

horii@nitran-telecom.co.jp 又は  
horitsuotomu@ybb.ne.jp まづ

## グルメ同好会 屋形船で天ぷら満喫

佐藤 愛子 (文学部卒)

4月16日、江戸文化徘徊・写真・カラオケ同好会と共催で、隅田川の屋形船でのお花見と浅草界隈



風に吹かれて記念撮影

隈散策ツアーを楽しみました。

総勢17名が既橋の「駒形」に集合し、貸しきりの屋形船に乗り込みいざ出陣！お花見は、船上から対岸の散りゆく桜がかすかに眺められるだけでしたが、船内では3人の元気な姥桜？が満開状態。

揚げ立ての魚、海老など種類豊富な天ぷらやお刺身等々豪華料理に、飲みや唄えの大宴会はさながら竜宮城。発足したばかりのカラオケ同好会を筆頭に、メイク大好きなメンバーたちの甘い美声に酔いしれて、船上に上がるると冷たい風が心地よく、全員で記念撮影。

下船後は、ほろ酔い気分が浅草へぶらぶら移動。浅草寺に参拝後、仲見世を散策しながら甘味処でお土産を買い、全国展開のリサイクル着物「たんす屋」さん(堀井会長のご紹介)にて天頂さんより価値ある古い着物をいかに現代風に蘇らせるか、また、現代の着物志向や最近の静かな着物ブ

ームについての説明を伺いました。店内はお客さんが絶え間なく、発想を転換しての新しいビジネススタイルに感じられました。神谷パーにも立ち寄り古き良き昭和のノスタルジーに浸りつつ第2会場へ。さすが浅草、土曜日の人出でどこも満杯。団体などほぼ無理なのに、必死に何軒も別の店を探してくれた浅草っ子のお兄さんに感謝しつつ、冷えた生ビールでまた乾杯！人情溢れる浅草の味に心を残しながら帰途につきました。

だから止められない48会。なぜかまた来てしまう48会と言われるような楽しい企画を今後もしていきたいと思っておりますので、皆さんお誘い合わせのうえぜひご参加ください。

今回は鯨：の予定です。

## 温泉同好会設立

三森 孝悦 (理工学部卒)

今回、「温泉同好会」を設立いたしました。

ご参加希望の方は、メールでお申し込みください。

三森孝悦まで  
taka@pc-space.com

## 写真同好会 山歩き二題

榎本 真一 (文学部卒)

写真同好会は、ハイキング同好会と共催で昨年二度の山歩きを楽しみました。

第1回は6月5日の「高尾山ハイキング」。八王子からタクシーで和田峠まで行き、そこから陣馬山へ。6月としては珍しく空気の澄んだ日で、富士山をはじめ遠く南アルプスまで見渡せるほどの好天。新緑の中を景信山から高尾山まで縦走しました。参加者は森、坂本、若狭、榎本の4名。

第2回は11月6日の「御嶽大岳ハイキング」。御嶽駅からケーブル下までタクシーで。山頂駅から歩き始め、大岳山へ。赤と黄色の秋色の中を日没とその速さを競うように鋸山をめざしました。鋸山の真下が奥多摩駅でしたが、駅に着いたときは真つ暗。駅前の食堂での下山祝い夜の帳の中。帰宅は深夜におよびましたが、楽しい1日ではありましたが、参加者は、森、小野塚、若狭、榎本の4名。今回は、17年11月19日の筑波山です。



大岳山頂にて

# 事務局 日誌

## ●第40回幹事会

日時 2004年5月12日(水)  
場所 中央大学駿河台記念館  
議事 第6回総会当日の運営について

## ●第41回幹事会

日時 2004年6月12日(土)  
場所 中央大学多摩キャンパス  
議事 第6回総会の進行について

## ●第6回総会

日時 2004年6月12日(土)  
場所 中央大学多摩キャンパス  
参加者 30名(詳細は別掲)

## ●第42回幹事会

日時 2004年7月12日(月)  
場所 中央大学駿河台記念館  
議事 第6回総会報告・今後の活動予定

## ●臨時幹事会

日時 2004年9月24日(金)  
場所 中央大学駿河台記念館  
議事 第15回ホームカミングデー参加について

## ●第43回幹事会

日時 2004年11月12日(金)  
場所 中央大学駿河台記念館  
議事 ホームカミングデー総括

## ●2004年白門48会忘年会

日時 2004年12月2日(木)  
場所 駿河台記念館ボンスフ  
参加者 15名

## ●2005年白門48会新年会

日時 2005年1月12日(水)  
場所 小石川「いろは寿司」  
参加者 16名

## ●第44回幹事会・二役会

日時 2005年3月12日(土)  
場所 中央大学後楽園キャンパス  
議事 第7回総会の開催準備について・役員の変更について

## ●第45回幹事会

日時 2005年4月12日(火)  
場所 中央大学後楽園キャンパス  
議事 第7回総会当日の運営について

## ●第46回幹事会

日時 2005年5月12日(木)  
場所 中央大学後楽園キャンパス

## ●第7回総会

日時 2005年6月12日(日)  
場所 京王プラザホテル  
参加者 43名(詳細は別掲)

## ●白門48会二役会

日時 2005年6月24日(金)  
場所 中央大学駿河台記念館  
議事 第7回総会報告

## ●第47回幹事会

日時 2005年7月12日(火)  
場所 中央大学後楽園キャンパス  
議事 第7回総会総括・今後の活動予定

## MEMBERS

### 東北支部設立に向けて動き急

第7回総会でも承認されましたが、「東北支部設立プロジェクト」がさっそく動きだしました。

このプロジェクトを担当する小田島副会長が中心になって、各県ひとりずつ発起人を選任し、8月中旬には仙台市で第一回の準備委員会を開く予定です。

### 関西支部活性化に向けて動き急

第7回総会でも承認されましたが、「関西支部活性化プロジェクト」がさっそく動きだしました。

このプロジェクトを担当する新倉副会長が中心になって、11月5日(土)に定例幹事会を関西で開くことを決定。その準備

### 東北地方在住、または出身の会員の方へ

東北地方在住、または出身の会員の皆さん、東北支部の旗揚げにぜひご参加ください。

### 関西支部活性化に向けて動き急

第7回総会でも承認されましたが、「関西支部活性化プロジェクト」がさっそく動きだしました。

このプロジェクトを担当する新倉副会長が中心になって、11月5日(土)に定例幹事会を関西で開くことを決定。その準備

## 会員募集!

お申し込みはホームページから

### <白門48会連絡先>

住所・勤務先変更、新規会員紹介、同好会活動、お問い合わせ等何でもご連絡ください。  
白門48会幹事長 石坂 隆  
中央大学図書館都心キャンパス事務局勤務  
〒112-8551 文京区春日1-13-27  
TEL 03-3817-1976  
FAX 03-3817-1978

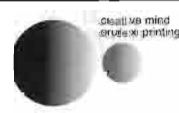


自伝・創作・詩歌集等自費出版の編集

## なみきみち社

代表 榎本真一

〒236-0005 横浜市金沢区並木1-17-12-1305  
TEL. 045-772-0760



総合印刷 有限会社 オルディ

代表取締役

## 滝田 健司

編集印刷  
デザイン  
企画  
DTP  
情報処理

本社 〒121-0055 東京都足立区加平1-10-8  
TEL.03-5673-6101 FAX.03-5673-6102  
工場 〒121-0055 東京都足立区加平1-11-7  
TEL.03-3628-0333 FAX.03-3628-0334  
E-mail:gu-corp@mw.biglobe.ne.jp